

## 第220回 信用保証利用企業動向調査

(2024年1～3月期実績、2024年4～6月期見通し)

福岡県信用保証協会は、株式会社日本政策金融公庫と共同で、福岡県信用保証協会をご利用いただいている中小企業に対し、景況・金融動向を把握するため、四半期毎にアンケートを実施のうえ発表しています。

なお、次回の発表は2024年8月を予定しています。



### — 今回の調査 —

【調査時点】	2024年3月中旬
【調査対象】	1,584企業
【有効回答数】	380企業（回答率24.0%）
【調査方法】	封書によるアンケート調査



## ～ 福岡県内の景況・金融動向 ～

**「県内信用保証利用企業の景況は、持ち直しの動きがみられます」**

**生産・売上** 建設業を除く全ての業種で改善し、特に小売業が大幅に改善しました。

**採算** 建設業を除く全ての業種で改善し、特にサービス業で大幅に改善しました。

**資金繰り** 建設業、サービス業を除く業種で改善しました。

**借入難易感** 製造業、建設業で改善し、サービス業、小売業で横ばい、卸売業で大幅に悪化しました。

### ■お問い合わせ先

企業支援部 業務企画課 楠本・本田 電話092(415)2609

URL : <https://www.fukuoka-cgc.or.jp/> Mail : [hoshou-kikaku@cgc-fukuoka.jp](mailto:hoshou-kikaku@cgc-fukuoka.jp)



## 概況

### 総合DIの推移

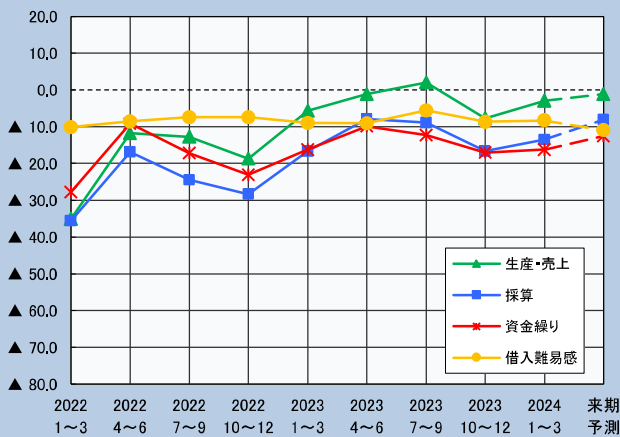
#### コメント ～全国と同様、福岡の景況も持ち直しの動きがみられる～

今期調査(2024年1～3月期)による景況動向指数は、前期(2023年10～12月期)実績に比べ、全国値では、採算DIはマイナス幅が縮小、生産・売上DIおよび資金繰りDIはマイナス幅がやや縮小、借入難易感DIはマイナス幅がやや拡大しました。

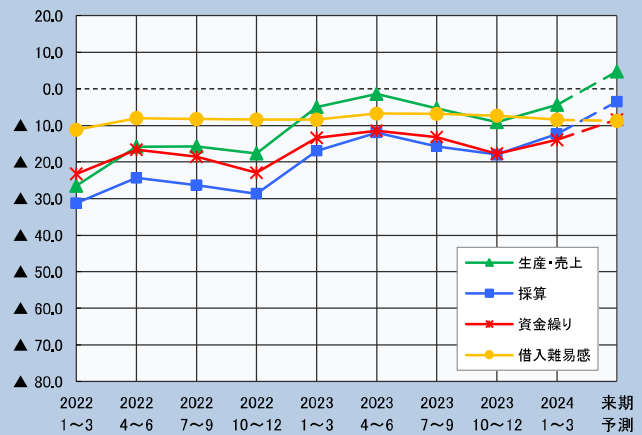
福岡では、生産・売上DIおよび採算DIはマイナス幅がやや縮小、資金繰りDIおよび借入難易感DIは横ばいとなりました。

来期予測について、全国では借入難易感DIが横ばいとなる見込みとなっており、福岡では借入難易感が悪化する見込みとなっています。

#### 福岡



#### 全国



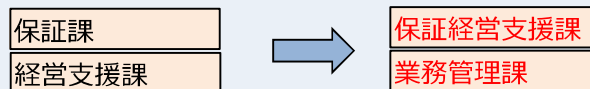
#### ※景気動向指数DI(Diffusion Index)とは・・・

景気動向指数DIとは、景気の現状と先行きを予測する動向指数で、アンケート調査において、前期に比べ、「増加(または、好転、容易)」と回答した企業割合から、「減少(または、悪化、困難)」と回答した企業割合を差し引いた数値から、季節的な変動要因(季節調整値)を控除した数値です。

## TOPICS

### ◆当協会の組織変更について◆

当協会は、中小企業の皆さまが抱える多様な課題の解決に向けて、きめ細やかな支援により一層取り組むことを目的に、令和6年4月1日付で組織変更を行いました。



これに伴い、各部支所の担当業務及び担当区域が変更になりました。保証申し込みのご相談や各種お問い合わせの際には、変更後の各担当窓口までご連絡いただきますようお願いいたします。詳細につきましては、当協会ホームページ「アクセス・相談窓口」をご覧ください。

### ◆経営者保証を不要とする新たな制度について◆

令和6年3月15日(金)から、一定要件を満たし、信用保証料を上乗せすることで経営者保証を不要とする「事業者選択型経営者保証非提供制度」の取扱いを開始しております。

詳細につきましては、営業部・各支所の窓口までお問い合わせください。



福岡県信用保証協会

本所企業支援部



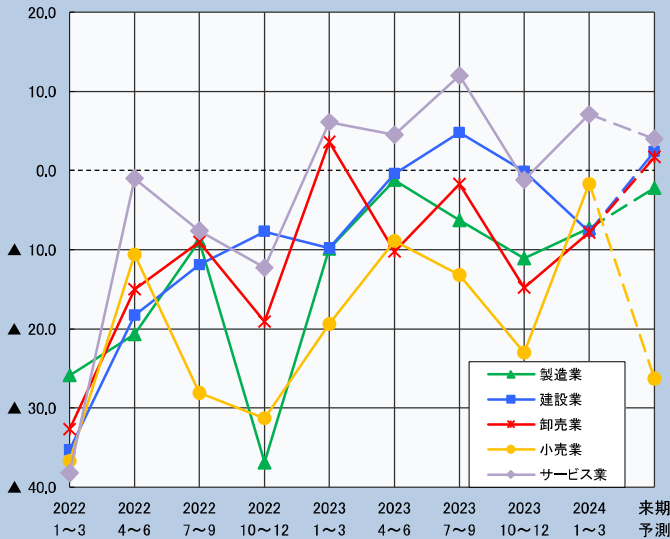
0120-112-249

## 生産・売上DI

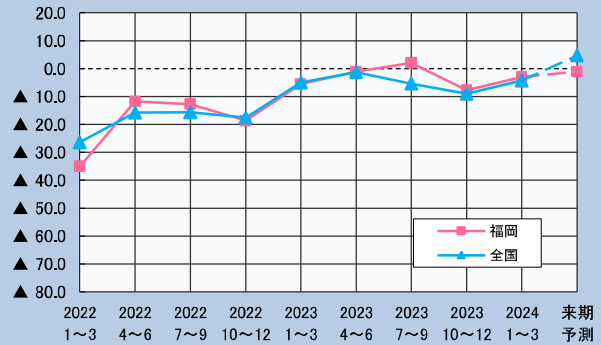
### コメント ~建設業を除く全ての業種で改善し、特に小売業で大幅に改善~

生産・売上DIについて、福岡総合値では、前期実績に比べ4.7ポイントやや改善し、▲3.0となりました。  
業種別では、前期実績に比べ、小売業は21.3ポイント大幅に改善し、サービス業は8.3ポイント、卸売業は7.0ポイント改善し、製造業は3.8ポイントやや改善しました。一方で建設業は7.6ポイント悪化しました。  
来期予測では、小売業、サービス業を除く業種で改善する見込みとなっています。

#### 福岡県の実績・売上DI推移(業種別)



#### 全国と福岡県の実績・売上DIの総合



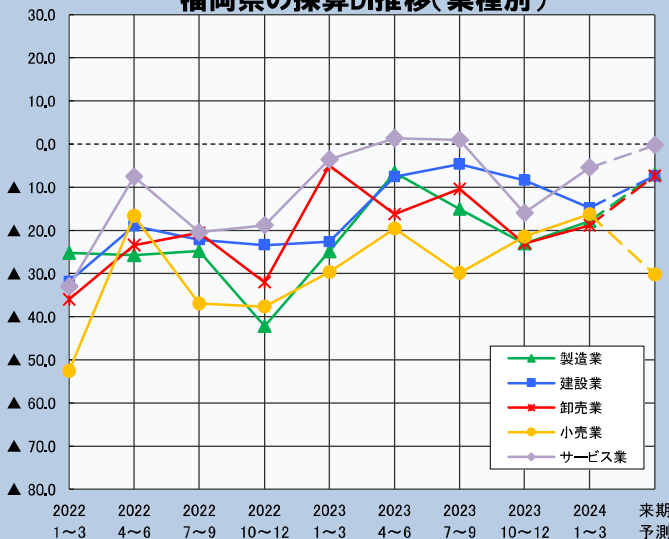
業種	福岡	前期予測	今期実績	来期予測
総合	▲ 8.2	▲ 3.0	▲ 1.2	▲ 1.2
製造業	▲ 9.0	▲ 7.3	▲ 2.2	▲ 2.2
建設業	▲ 3.7	▲ 7.7	2.4	2.4
卸売業	▲ 2.4	▲ 7.8	1.7	1.7
小売業	▲ 24.7	▲ 1.7	▲ 26.3	▲ 26.3
サービス業	▲ 6.9	7.1	4.0	4.0

## 採算DI

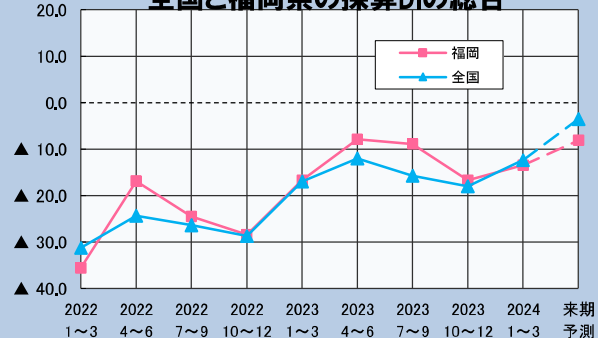
### コメント ~建設業を除く全ての業種で改善し、特にサービス業で大幅に改善~

採算DIについて、福岡総合値では、前期実績に比べ3.2ポイントやや改善し、▲13.5となりました。  
業種別では、前期実績に比べ、サービス業が10.5ポイント大幅に改善し、製造業および小売業は5.2ポイント改善し、卸売業は4.2ポイントやや改善しました。一方で建設業は6.4ポイント悪化しました。  
来期予測では、小売業を除く全ての業種で改善する見込みとなっています。

#### 福岡県の実績・採算DI推移(業種別)



#### 全国と福岡県の実績・採算DIの総合



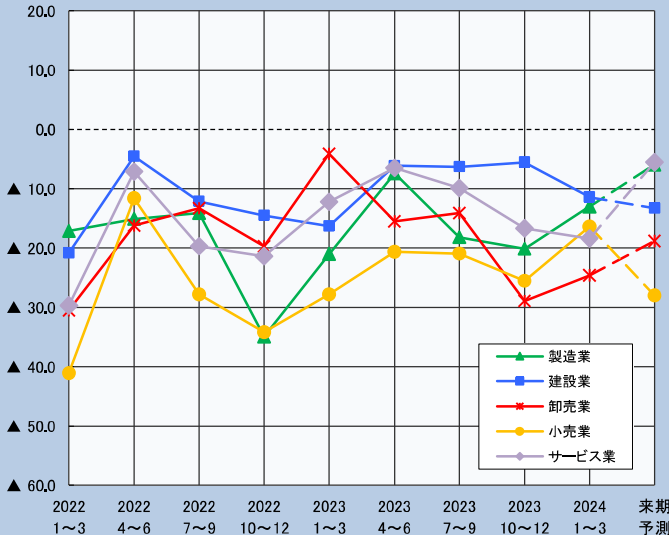
業種	福岡	前期予測	今期実績	来期予測
総合	▲ 14.1	▲ 13.5	▲ 8.1	▲ 8.1
製造業	▲ 25.0	▲ 17.9	▲ 7.0	▲ 7.0
建設業	▲ 7.6	▲ 14.8	▲ 7.4	▲ 7.4
卸売業	▲ 3.4	▲ 18.9	▲ 7.4	▲ 7.4
小売業	▲ 16.7	▲ 16.3	▲ 30.3	▲ 30.3
サービス業	▲ 18.8	▲ 5.5	▲ 0.3	▲ 0.3

## 資金繰りDI

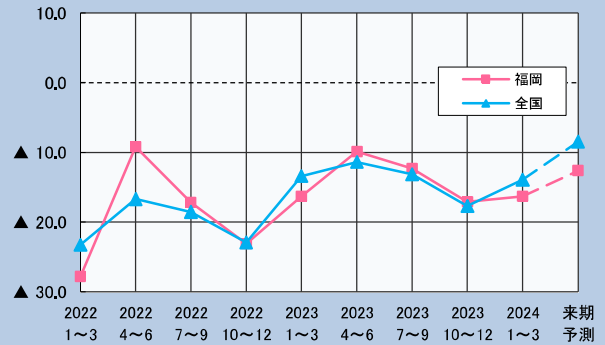
### コメント ～建設業、サービス業を除く業種で改善～

資金繰りDIについて、福岡総合値では、前期実績に比べ横ばいの▲16.3ポイントとなりました。  
業種別では、前期実績に比べ、小売業は9.1ポイント、製造業は7.1ポイント改善し、卸売業は4.3ポイントやや改善しました。  
一方で建設業は5.9ポイント悪化し、サービス業は1.7ポイントやや悪化しました。  
来期予測では、建設業、小売業を除く業種で改善する見込みとなっています。

### 福岡県の資金繰りDI推移(業種別)



### 全国と福岡県の資金繰りDIの総合



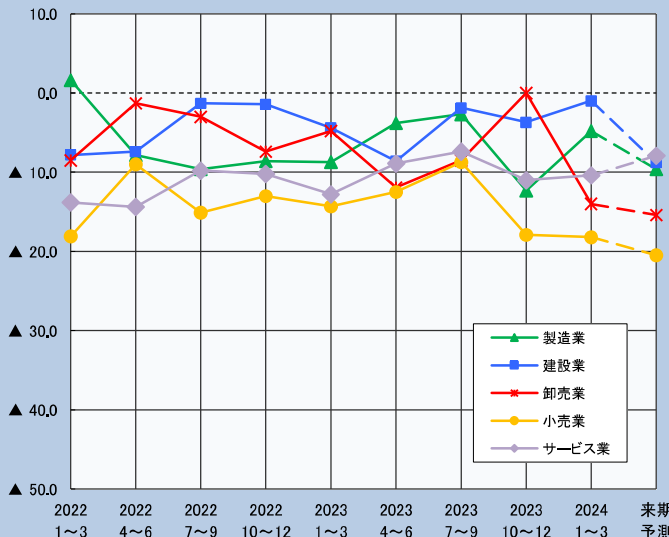
	福岡	前期予測	今期実績	来期予測
総合	▲17.8	▲17.8	▲16.3	▲12.6
製造業	▲19.4	▲19.4	▲13.0	▲5.9
建設業	▲13.2	▲13.2	▲11.4	▲13.3
卸売業	▲15.4	▲15.4	▲24.6	▲18.8
小売業	▲25.0	▲25.0	▲16.4	▲28.0
サービス業	▲19.5	▲19.5	▲18.4	▲5.5

## 借入難易感DI

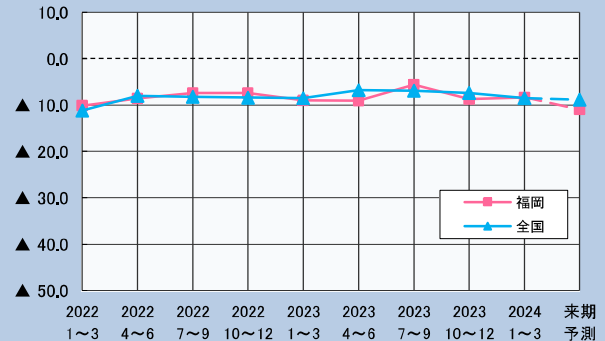
### コメント ～製造業、建設業で改善し、サービス業、小売業で横ばい、卸売業で大幅に悪化～

借入難易感DIについて、福岡総合値では、前期実績と比べ横ばいの▲8.3となりました。  
業種別では、前期実績に比べ、製造業は7.5ポイント改善し、建設業は2.7ポイントやや改善し、サービス業、小売業は横ばいでした。  
一方で卸売業は14.0ポイント大幅に悪化しました。  
来期予測では、サービス業を除く全ての業種で悪化する見込みとなっています。

### 福岡県の借入難易感DI推移(業種別)



### 全国と福岡県の借入難易感DIの総合



	福岡	前期予測	今期実績	来期予測
総合	▲14.2	▲14.2	▲8.3	▲11.0
製造業	▲12.5	▲12.5	▲4.8	▲9.6
建設業	▲12.9	▲12.9	▲1.0	▲8.8
卸売業	▲7.2	▲7.2	▲14.0	▲15.4
小売業	▲23.2	▲23.2	▲18.2	▲20.5
サービス業	▲15.4	▲15.4	▲10.4	▲7.9

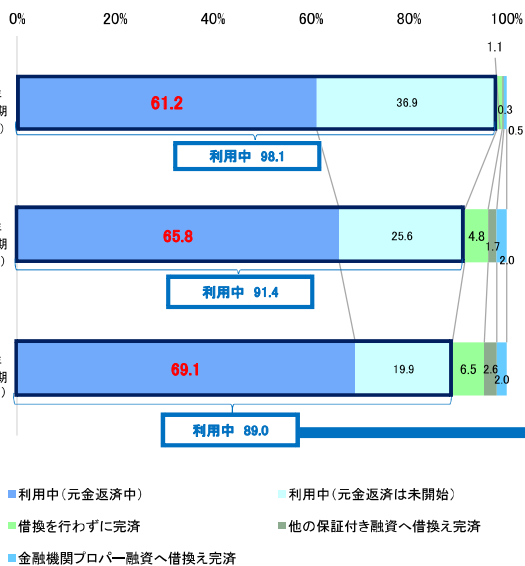
経営環境において直面している課題及びアフターコロナにおける経営環境変化に対応するための取組み等について

1. ゼロゼロ融資の返済状況、返済見通しについて

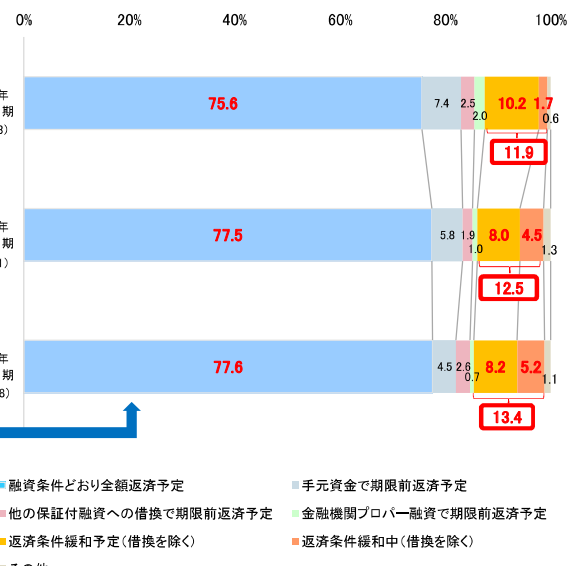
・ゼロゼロ融資<sup>※1</sup>の返済状況については、「利用中(元金返済は未開始)」、「金融機関プロパー融資へ借換え完済」を除き、いずれも前回調査<sup>※2</sup>と比べ増加している。  
 ・ゼロゼロ融資利用中の企業の返済見通しについては、「融資条件どおり全額返済予定」が77.6%とあまり変化はみられない一方、「返済条件緩和(借換を除く)」と「返済条件緩和予定(借換を除く)」を合わせた割合は13.4%と0.9ポイント増加している。

※1 ゼロゼロ融資とは、2020年5月に創設された民間金融機関における実質無利子・無担保のコロナ関連融資のことであり、国が保証料補助・利子補給を行う融資制度を指す。  
 ※2 2023年7-9月期

(1) ゼロゼロ融資の返済状況



(2) ゼロゼロ融資利用中の企業の返済見通し

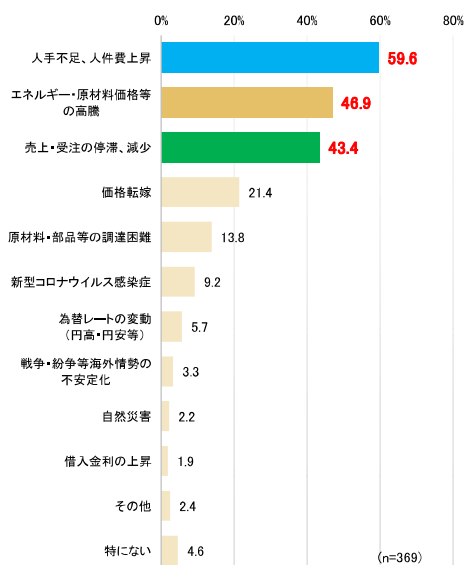


(注)「当初からゼロゼロ融資を利用していない」企業は除く。

2. 経営環境において直面している課題について

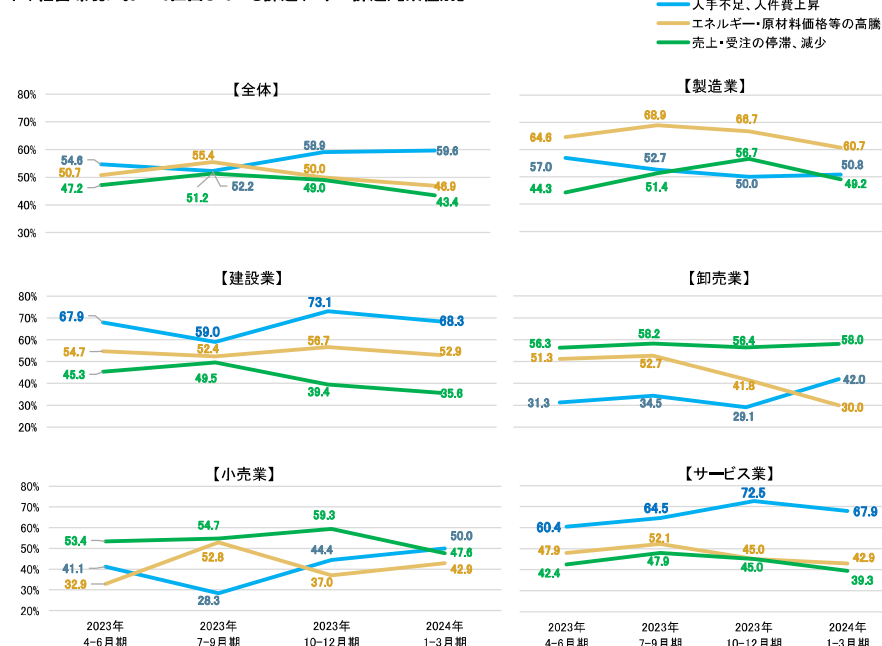
・2024年1-3月期の経営環境において直面している課題については、「人手不足、人件費上昇」が59.6%と最多。次いで「エネルギー・原材料価格等の高騰」(46.9%)、「売上・受注の停滞、減少」(43.4%)の順となっている。  
 ・業種別に課題の推移をみると、建設業及びサービス業では「人手不足、人件費上昇」が恒常的に高くなっている。

(1) 経営環境において直面している課題



(注) (1)、(2)は3つまで回答可のため、合計は100%を超える。

(2) 経営環境において直面している課題(上位3課題)【業種別】

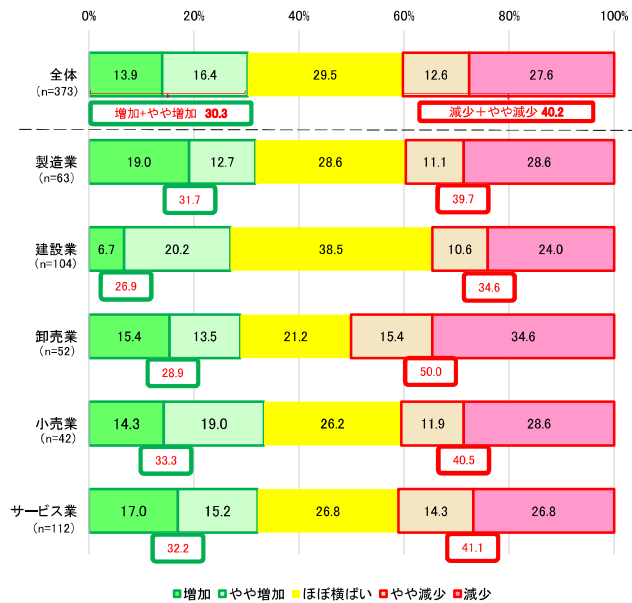


### 3. コロナ前（2019年）と現在の業況（売上高、経常損益）の比較

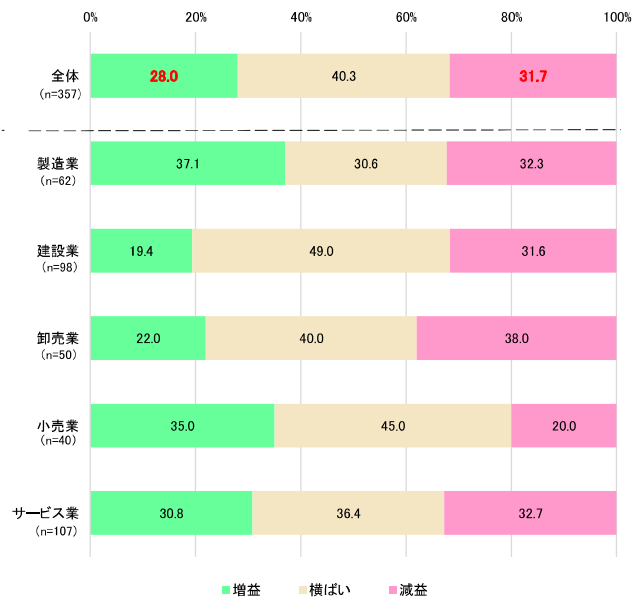
- ・現在の売上高をコロナ前<sup>\*</sup>と比較すると、「減少」+「やや減少」が40.2%となっており、「増加」+「やや増加」(30.3%)を上回っている。
- ・業種別に売上高をみると、いずれの業種も「減少」+「やや減少」が「増加」+「やや増加」を上回っている。
- ・現在の経常損益をコロナ前<sup>\*</sup>と比較すると、「減益」が31.7%となっており、「増益」(28.0%)を上回っている。
- ・業種別に経常損益をみると、製造業及び小売業を除く業種で「減益」が「増益」を上回っている。

※ 2019年をいう。(以下、同じ)

(1) 売上高【業種別】



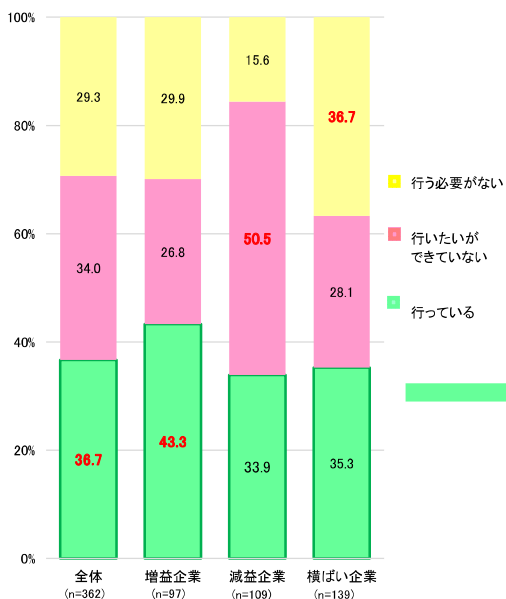
(2) 経常損益【業種別】



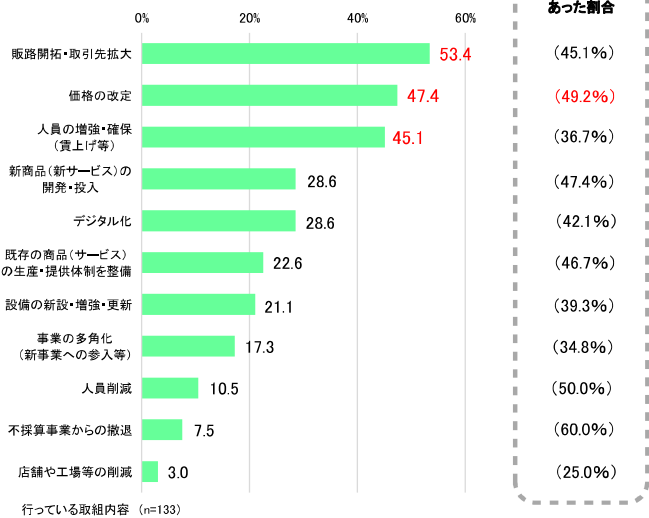
### 4. アフターコロナにおける経営環境変化に対応するための取組み等について

- ・アフターコロナにおける経営環境変化に対応するため、何らかの取組みを「行っている」割合は36.7%となっている。経常損益(コロナ前との比較)別に取組み状況を見ると、増益企業では、取組みを「行っている」(43.3%)の回答割合が高い。一方、減益企業では、取組みを「行いたいができない」(50.5%)の回答割合が高く、横ばい企業では、取組みを「行う必要がない」(36.7%)の回答割合が高い。
- ・行っている取組内容については、「販路開拓・取引先拡大」(53.4%)が最多。次いで「価格の改定」(47.4%)、「人員の増強・確保(賃上げ等)」(45.1%)の順となっている。
- ・取組効果があったと回答した企業の割合は、行っている取組内容上位3つの中では「価格の改定」(49.2%)が最も高い。

(1) 取組みの状況【経常損益(コロナ前との比較)別】



(2) 行っている取組内容、取組効果があった割合



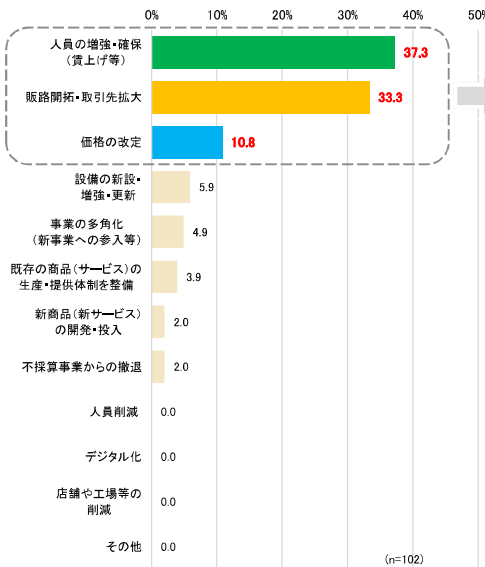
(注1) 経営環境変化に対応するために行っている取組内容は、複数回答可のため、合計は100%を超える。  
 (注2) 取組効果があった割合は、取組内容ごとに算出。

#### 4. アフターコロナにおける経営環境変化に対応するための取組み等について

・行いたいができている取組内容については、「**人員の増強・確保(賃上げ等)**」(37.3%)が最多。次いで「**販路開拓・取引先拡大**」(33.3%)、「**価格の改定**」(10.8%)の順となっている。

・取組みを行いたいができている理由を取組内容別にみると、**人員の増強・確保(賃上げ等)**では「**費用負担が大きい**」(51.9%)が、**販路開拓・取引先拡大**では「**時間がない**」(33.3%)が、**価格の改定**では「**費用負担が大きい**」、「**資金調達ができない**」、「**何から取り組んでよいか分からない**」(25.0%)が、それぞれ最多となっている。なお、取組みを行いたいができている理由を全体で見ると「**費用負担が大きい**」(25.9%)が最多となっている。

(3) 行いたいができている取組内容



(4) 取組みを行いたいができている理由【取組内容別】

取組内容	理由 (%)		
	1位	2位	3位
人員の増強・確保(賃上げ等)	費用負担が大きい 51.9	費用対効果が不明 14.8	知識・ノウハウ不足 11.1
販路開拓・取引先拡大	時間がない 33.3	知識・ノウハウ不足 20.0	費用対効果が不明 13.3
価格の改定	費用負担が大きい 25.0	資金調達ができない 25.0	何から取り組んでよいか分からない 25.0

(参考) 取組みを行いたいができている理由【全体】

